

福島と茨城の人と人 心と心をつなぐ

## ふうあいおたより

2023  
vol. 38「ふくしまを未来につなぎ、伝え続けよう」  
～伝統文化を風化させないために～

3月4日、水戸市において、ふうあいねっと主催の東日本大震災12年特別企画が開催され、ふくしまで伝え続けられている民俗芸能等が披露されました。

会場では来場者同士が交流する姿も見られ、「思いがけず友人に会い感激しました」「あっという間に時間が経ち楽しかったです。新しい知人ができました」と喜ぶ声があり、ふくしまの伝統文化を知ってもらうとともに、来場者同士の交流が深まる一日となりました。

## 双葉への想いを込めて

福島県内はもちろん、つくば市や宇都宮市から、いわき市に集合して練習を重ね、この日は28人が陣羽織や袴の衣装を着て、相馬流れ山踊りを披露しました。

さらに、客席を輪で囲んで「ふたば音頭」を踊り、会場を盛り上げました。来場者は「踊っている姿を見て元気がでます」「自分も踊っていた頃を思い出しました」と、ふるさとへの想いを寄せていました。



双葉町相馬流れ山踊り保存会のみなさん

## ふるさとの民話を方言で

「福島の文化をもっと知ってもらいたい」と民話の語り部として活動を続ける茨城町の吉田孝子さん(富岡町出身)。富岡町の「高津戸餅」、榎葉町の「屁つたれ嫁さま」の2話を方言で披露しました。

来場者からは「懐かしく思い出しながら癒されました」「どんな漫才、落語よりもおもしろかったです」などの感想があり、優しい声色で語られる民話を聞き入っていました。



## 沖縄で出会った歌を胸に

鹿嶋市の鎌田昭三さん(南相馬市出身)は、震災後9年過ぎた沖縄で聴いた「八重山やいま」に自身の想いを重ね、南相馬の情景を織り交ぜてふるさとへの想いを歌いました。

気持ちのこもった熱い歌に会場では大きな拍手が沸き起こり、「歌がしみじみと身にしみました」「普通に暮らせることに改めて感謝です」などの感想がありました。



## 舞い込む獅子神楽

映像で紹介したのは、浪江町川添芸能保存会の「川添の神楽」。

受け継がれる郷土の民俗芸能に、来場者からは「実物を見たい」という期待も寄せられました。



## 出演されたみなさんから

●福島で放映されたテレビを見た友人知人から連絡が来て嬉しかったです。(吉田さん) ●ふるさとの山、海、人たちの想い、心を込めて踊りました。(保存会のみなさん) ●八重山はふるさとを恋しく懐かしく想う歌詞。福島から2000キロ離れた宮古島でその想いが重なりました。(鎌田さん)

## 来場のみなさんから

●今を生きる元気をいただきました。 ●失われたコミュニティを取り戻すために伝統文化を引き継ぐことは大切です。 ●ふるさとを思い出し、それぞれの発表が心にしみました。 ●生命・くらしを大切にする世の中にしていきたいですね。

## いろ葉会

北茨城市で新たに活動を始めた双葉町出身者のグループです。花貫渓谷での紅葉狩りやウォーキング、クリスマスリース作り、新年会を実施し、仲間と顔を合わせることで楽しさが増す交流会となりました。食事をしながら懐かしい話題で盛り上がり、現在の生活情報の交換をするなど、気分転換を図る機会となりました。新年会では今後の活動計画も話題に上がっており、活動の継続が期待されます。



## ミッキー&キムチーズ

ミッキー先生（広野町出身）が長年の経験で極められたキムチ作りを「地域のみなさんと一緒に!」と、那珂市を拠点に立ち上げたグループです。当日は当事者7名を含む11名の参加があり、福島弁、茨城弁を交えながら白菜45株を漬け込むにぎやかな一日となりました。避難当時の話なども話題に上がりましたが、みなさん朗らかに話されており、広域避難について互いに理解が深まりました。「ぜひまた!」という要望もあがるなど、新たなつながりが生まれた交流会となりました。



## かしまニホンミツバチ友の会

南相馬市出身者が、ニホンミツバチの保護を目的に、鹿嶋市で地域のみなさんと新たに立ち上げたグループです。各々自宅に手作りの巣箱を設置するため、勉強会を開き、家を訪ねて飼育状況を確認し合うなど、ミツバチを通して人と人との密なつながりが生まれています。そのつながりがさらに地域でのボランティア活動に発展するなど、居場所づくり、生きがいづくりのモデルのような活動となりました。



このプロジェクトは、生活協同組合パルシステム組合員のみなさまの募金による「東京電力福島第一原子力発電所事故被災者応援金」の助成を受け、ふうあいねっとが実施しています。

2023年度も、「当事者つながる応援プロジェクト」として、居場所づくりやつながりづくりの活動をサポートします。チラシを同封していますので、ぜひご覧いただき、お気軽にふうあいねっとまでお問い合わせください。当事者のみなさん同士はもちろん、住んでいる地域の方と一緒に活動でも応募できます。この応援金で、地域社会に新たなつながりの輪を広げてみませんか。

## 交流会を開催しています

### 2月17日 じゃあまいいかねっと主催 スワッグづくり

2月17日小林紀子先生をお迎えして、スワッグ作りのワークショップが開催されました。先生の指導の下、春色のお花を束ねていくとあっという間に世界に一つだけの素敵なスワッグができました。参加者のみなさんもスワッグの仕上がりに大満足のご様子でした。スワッグを作りながら、お話しにも花が咲き和やかな時間を過ごすことができました。



### 2月18日 NPOフュージョン社会力創造パートナーズ主催 まち歩き交流会

ひたちなか市にある黒澤醤油店は明治38年に創業、杉桶で熟成させる天然醸造醤油蔵元を見学しました。「仕込み水」から「麹造り」「もろみ」になり、木桶で自然温にまかせて発酵、1~2年熟成させる、その間には蔵人が攪拌(かくはん)の作業をし、酵素のおかげでうま味と香りに満ちた醤油に仕上がると4代目蔵主さんが丁寧に説明してくれました。

伝統の味を守りながら、万能つゆやポン酢醤油などの新製品を生み出していて、併設しているお店でお買い物を楽しみ、甘酒や醤油ソフトクリームに舌鼓を打ちながらゆったりとした時間を過ごしました。



# よろず相談コーナー よろず相談受付中!お気軽にご連絡ください。

相談日:火・水・木曜日(9:00~16:00) TEL.070-3182-4044 Eメール fuai.soudan@gmail.com



## 原子力災害による賠償中間指針第5次追補についてお知らせ

原子力損害賠償審査会は7つの集団訴訟の確定判決を踏まえ、被害者の早期救済を目的として賠償指針となる中間指針を見直し、第5次追補をあらたに示しました(2022年12月)。東京電力ホールディングスは、追加賠償の請求受付を開始しています。

手続きの受付は、東電WEBサイトまたは、第5次追補  
ご相談専用ダイヤルで対応しています。5月中旬まで  
にご請求の手続きをされていない世帯には、東電から  
対象者へダイレクトメールが郵送されます。対象世帯  
でDMが届いていない方は、郵送先の住所をご確認ください。  
WEBサイトでも確認、変更ができます。

### ご相談専用ダイヤル

☎ 0120-926-470

受付時間 月~金(祝日除く) 9:00~19:00  
土日祝日 9:00~17:00

### WEBサイト

東電第5次追補

検索



※WEBサイトからご請求をされた際は、請求した画面を保存(スクリーンショット)しておくことをおすすめします。

## もう対象者ではなくなったかも…といませんか?下記の方は対象世帯です。

※ダイレクトメールが届いていなければ東電に手続きをしてください。

- 世帯主が亡くなっている…………… 世帯構成の変更手続きをおこなってください。
- 結婚して世帯を親から分離した…………… 世帯分離を希望することを相談ダイヤルにご連絡ください。
- 住民票を避難先に移した…………… 東電へ届けている住所に変更があれば住所変更をおこなってください。
- 避難生活の間に亡くなった家族がいる 逝去された方、事故後に出生された方も対象となっています。

## 詐欺にご注意ください! ~東京電力のホームページより~

東京電力の原子力事故による損害賠償手続きの一環であるかの如く装って、  
銀行口座等の情報を聞き出そうとしたり、賠償金の返却を求めたりする事件が発生しています。

### 主な手口

- 賠償金を振込むとの名目で、訪問し銀行の口座番号を聞き出す。
- 東電を装い、東電がお支払いした仮払補償金や賠償金を現金で返却するよう要求する。
- 東電から委任を受けた請求代行業者であるかのように装い、下記を指示する。
  - 請求に必要な資料の送付  
(登記簿謄本、営業許可証の写し、確定申告書、振込み口座番号、代表者の名刺)
  - プリペイド式携帯電話の購入

※福島県内において、東電の原子力事故による損害賠償手続きのお手伝いをするとの内容で、「セラ・コーポレーション」と名乗る事業者をはじめ、複数の事業者から電話があったとのこと相談も寄せられています。

東京電力では、賠償金のとりまとめなどを外部の業者へ依頼することはありません。  
また、賠償金のご請求の確認用にプリペイド式携帯電話の購入をお願いすることもあり  
ません。少しでも不審に思われたときは、下記の番号までお問合せください。

福島原子力補償相談室 コールセンター ☎0120-926-404

## 原子力損害賠償に関する説明・個別相談会に行ってきました!~私の場合~

(6月24日(土)水戸市開催)

- 第5次追補に伴う追加賠償、賠償請求全般についての解説を聞くことができました。
  - 弁護士さんに個別に相談されている方もいました。
- 今後、つくば市で9月2日(土)に開催予定です。日立市でも開催予定とのことです。  
参加無料/相談無料 **※事前の予約が必要です!**

説明会・個別相談に関するお問い合わせ・ご予約に関して

原子力損害賠償・廃炉等支援機構

フリーダイヤル0120-330-540 受付時間 9:30~17:00 土日も受付(祝休日を除く)

# 茨城県内の避難者受入状況

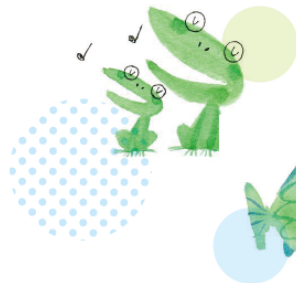
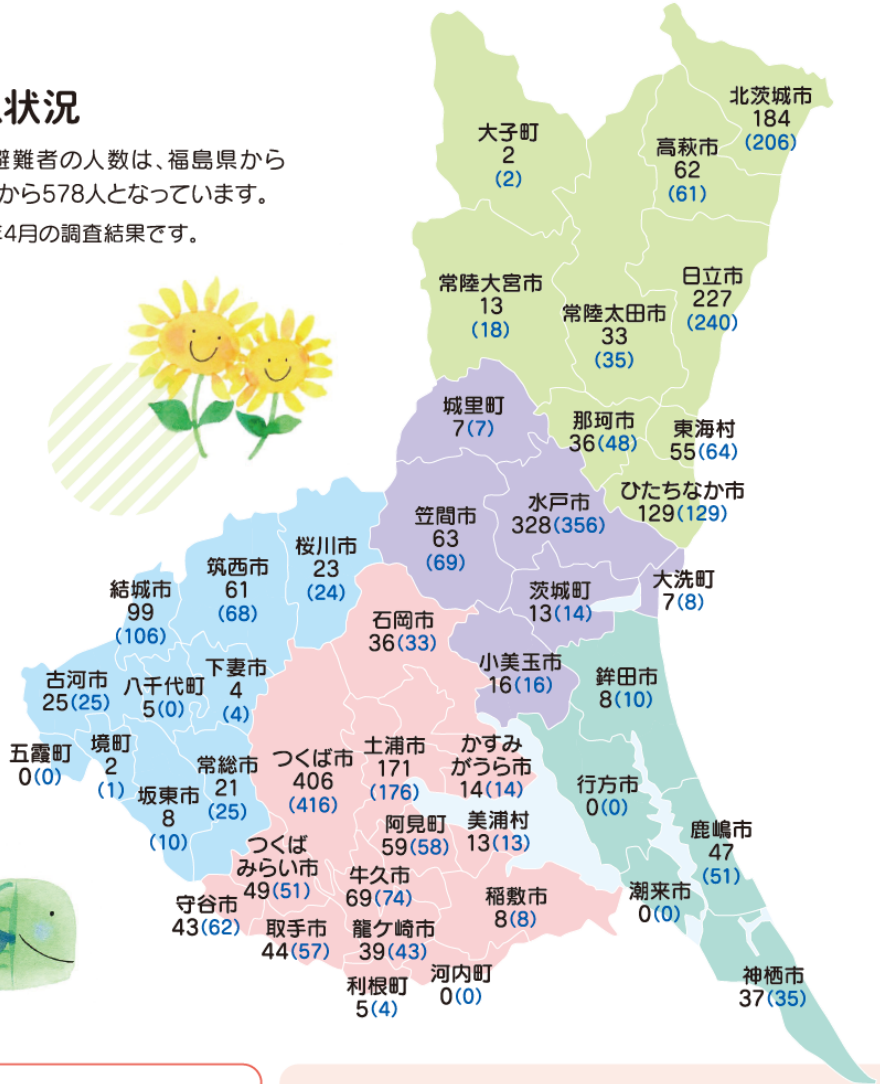
令和5年2月1日現在、全国への県外避難者の人数は、福島県から21,101人、宮城県から1,221人、岩手県から578人となっています。

※令和5年5月現在。( )の数字は令和4年4月の調査結果です。

## 福島から県外への避難状況

- 1.茨城県 2,499人
- 2.埼玉県 2,322人
- 3.東京都 2,321人
- 4.新潟県 1,909人
- 5.千葉県 1,342人

※復興庁HP「全国の避難者数」より



### ご紹介

福島県避難者支援課茨城駐在 横須賀 巧さん

よこすかたくみ

横須賀 巧さん

今年度から茨城県駐在となりました横須賀巧と申します。私事ですが趣味が鉄道で、JR常磐線沿線の使われなくなった駅の看板や電車の部品を集めております。まずは、福島県内の駅をコンプリートしたいです。



私自身、福島県富岡町の出身で震災を経験しました。長引く避難生活の中での困りごとや不安なことなど些細なことでもかまいません。遠慮なく御相談ください。笑顔を大切にしながら、少しでも皆様のお役に立てるよう精一杯活動してまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。

### ふうあいねっとさ、あがって～

ふうあいねっと事務局では、1週間分の「福島民友」と「福島民報」、福島県内の各市町村の広報誌を閲覧できます。また、ふうあいねっとが過去に発行した「震災5年いま伝えたいわたしの手記」や「暮らしの情報BOOK」の他、「いってみっか」、「いってみっかII」、「歩みの軌跡」なども、ご覧いただけます。毎週火曜日と水曜日は、閲覧コーナーにてお飲み物もご用意します。ふくしまの近況を知りたい方は、お気軽に事務局へ足をお運びください。

※夏休み期間は開館時間に変更になる場合がありますので、あらかじめお電話で来館予定時間をお知らせいただけますと安心です！

### ご寄付ありがとうございます お気持ちがかもったお品を大事に使わせていただきます。

鈴木 八重子様、星 松枝様……手編み毛糸の帽子 梶台 俊夫様……「絆」ペン立て 岡田 正己様……掛け軸、般若心経などの書

事務局におハガキ、絵ハガキもお送りいただきありがとうございます。みなさまからのあたたかいメッセージに励まされています。

### 事務局日記

- 2023年
- 9/ 3(土) 全員集合交流会in常陸太田市
  - 10/ 7(金) 市町村訪問(守谷市・龍ヶ崎市)  
ふうあいおたより36号発行、発送
  - 10/13(木) 市町村訪問(城里町)
  - 11/19(土) 全員集合交流会in結城市
  - 1/17(火) ふうあいおたより37号発行、発送
  - 2/24(金) 市町村訪問(北茨城市)
  - 3/ 4(土) 3.11祈念事業(民族芸能等の発表)
  - 4/28(金) 市町村訪問(境町・八千代町)
  - 5/10(水) 市町村訪問(ひたちなか市)
  - 5/12(金) 茨城県防災・危機管理課への訪問、情報交換
  - 5/28(日) ふうあいねっと総会

### 編集後記

こんにちは！このおたよりが届くころは梅雨も明け夏本番ですね。土用の日も近いので梅を干す作業をされる方もいらっしゃると思います。三日三晩天日に干すと、果肉が柔らかくなり優しい味になるようです。保存力もアップし色鮮やかに出来上がるので、完成が楽しみです。ヘタを取ったり手間はかかりますが毎年この時期は干した梅を容器におさめていくのが楽しみです。お弁当に入れるのですが敬遠されています。今年も入れますけどね(笑) (みさびー)

### 発行・お問い合わせ先

一般社団法人ふうあいねっと  
〒310-0851茨城県水戸市千波町1918  
茨城県総合福祉会館

TEL-FAX.029-241-5803  
Eメールfuai.sta@gmail.com

事務局携帯 TEL.070-3182-4044

公式LINE始めました！  
お友達登録お願いします！

